

改革プラン、前年度決算及び 今年度決算見込み対比分析資料

分析に使用した資料

- ・改革プラン(当初版)
- ・改革プラン(H22/9改定版)
- ・H22年度病院事業会計決算(9/28説明資料)
- ・4月から9月までの患者動向、料金収入(病院事務局提供)

2010/10/22作成

改革プラン・前年度との対比・乖離 の状況 ※H22年度実績は9月末までの実績ベース

入院患者数

	H20	H21	H22
改定版 改革プラン	85.5	115.5	104.9
実績	79.5	97.1	93.2

前年度対比増減人数 **-3.9** 人

前年度対比影響額 **-56,031** 千円

改革プラン	85.5	115.5	118.0
-------	------	-------	-------

入院単価

	H20	H21	H22
改定版 改革プラン	40,024	39,051	42,113
実績	42,269	42,077	39,383

前年度対比増減単価 **-2,694** 円

前年度対比影響額 **-91,632** 千円

改革プラン	40,024	39,051	38,952
-------	--------	--------	--------

改革プラン対比影響人数・単価・金額	
11.7人	2,730円
168,156千円	92,856千円
影響額	261,012千円

外来患者数

	H20	H21	H22
改定版 改革プラン	551.7	637.0	575.9
実績	556.2	574.1	523.7

前年度対比増減数 **-50.4** 人

前年度対比影響額 **-105,367** 千円

改革プラン	551.7	637.0	645.0
-------	-------	-------	-------

外来単価

	H20	H21	H22
改定版 改革プラン	8,080	7,917	8,371
実績	7,894	8,335	8,632

前年度対比増減価 **297** 円

前年度対比影響額 **37,668** 千円

改革プラン	8,080	7,917	7,878
-------	-------	-------	-------

改革プラン対比影響人数・単価・金額	
52.2人	-261円
109,127千円	-33,106千円
影響額	76,021千円

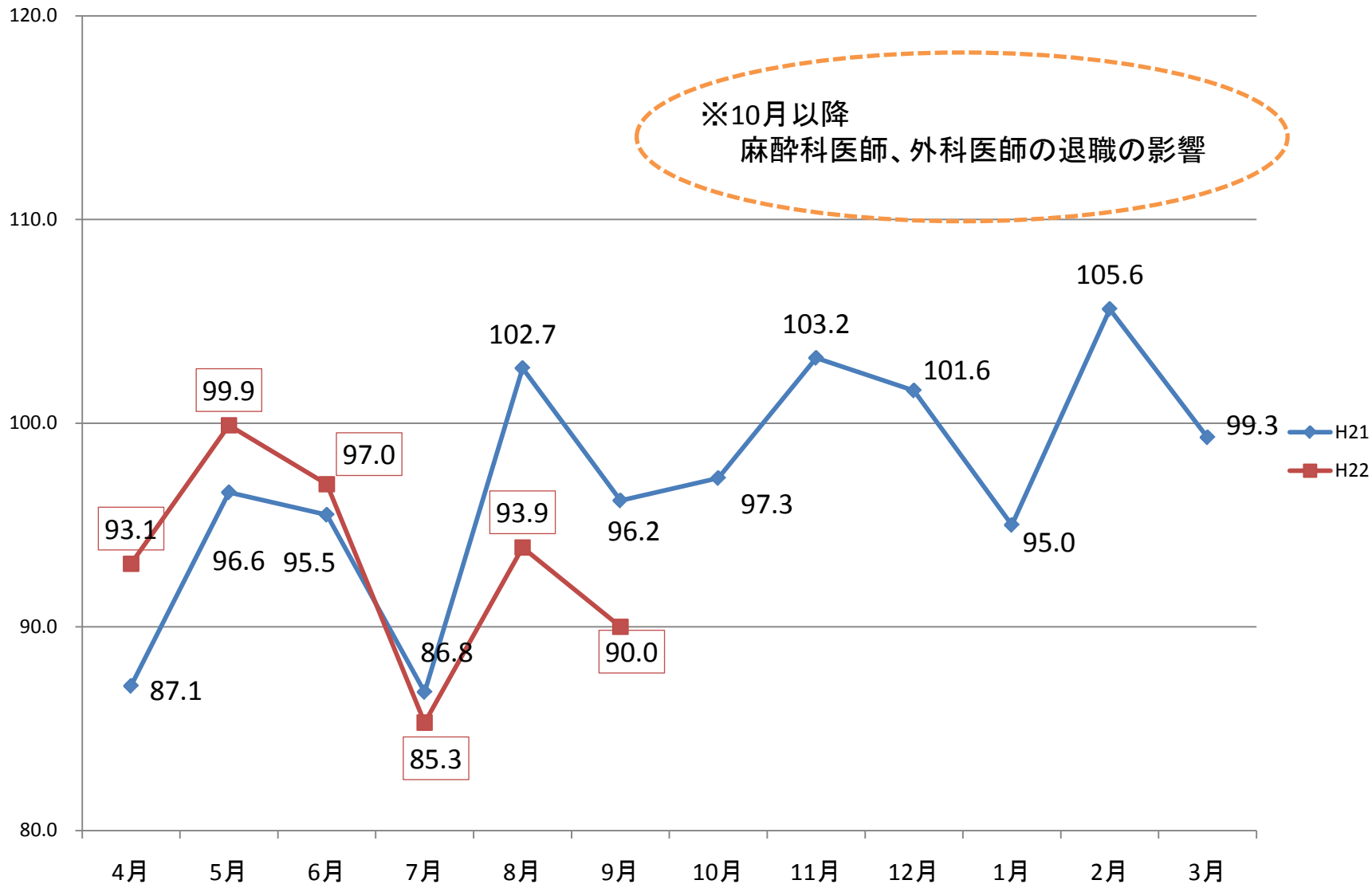
※242日開院で試算

前年度対比影響額	215,361千円	改定改革プラン対比影響額	337,033千円
----------	-----------	--------------	-----------

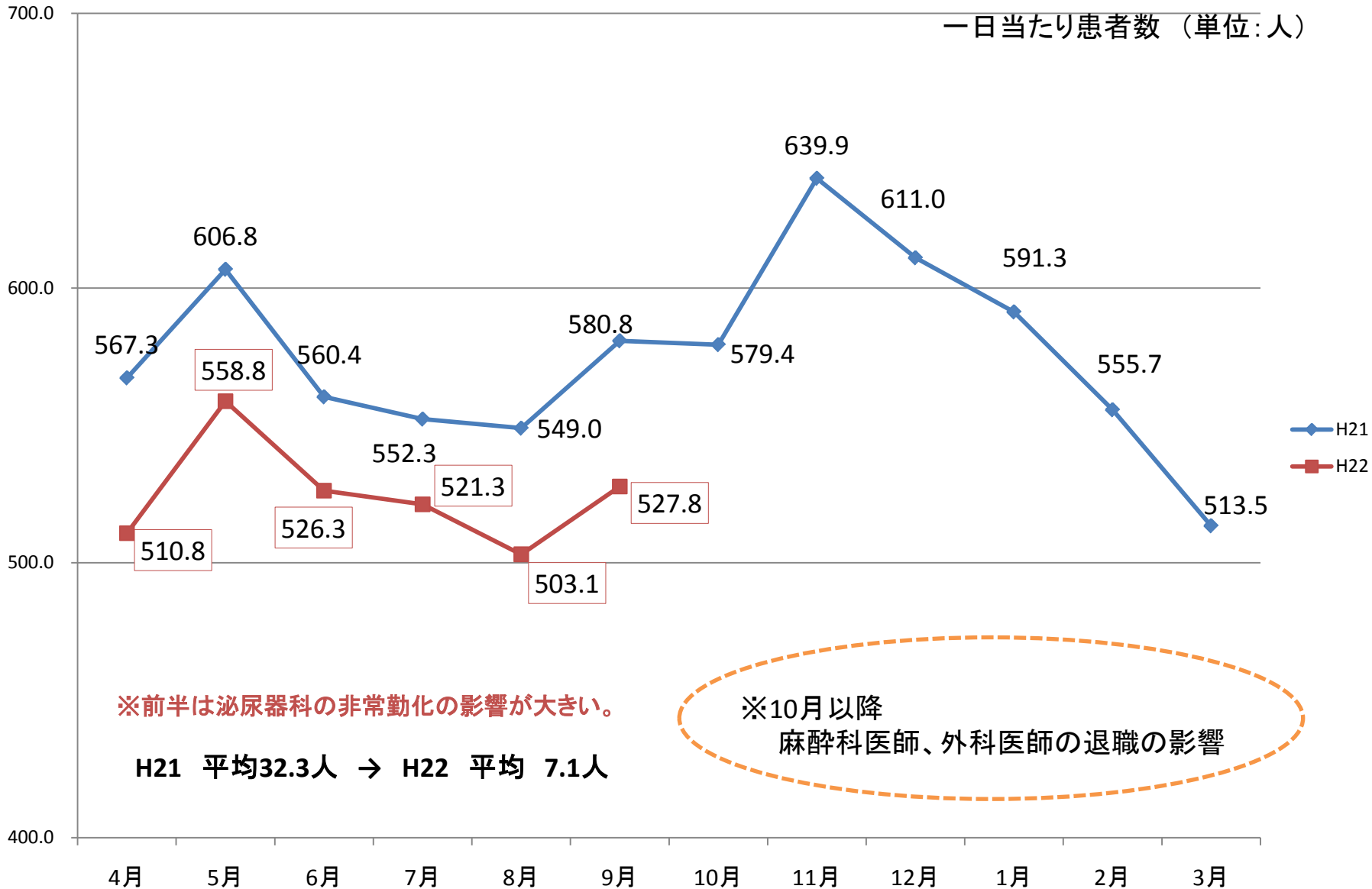
前年度対比で2億1千万円、改定版改革プラン対比で3億3千万円もの乖離？

月別入院患者動向(前年度対比)

一日当たり患者数 (単位:人)

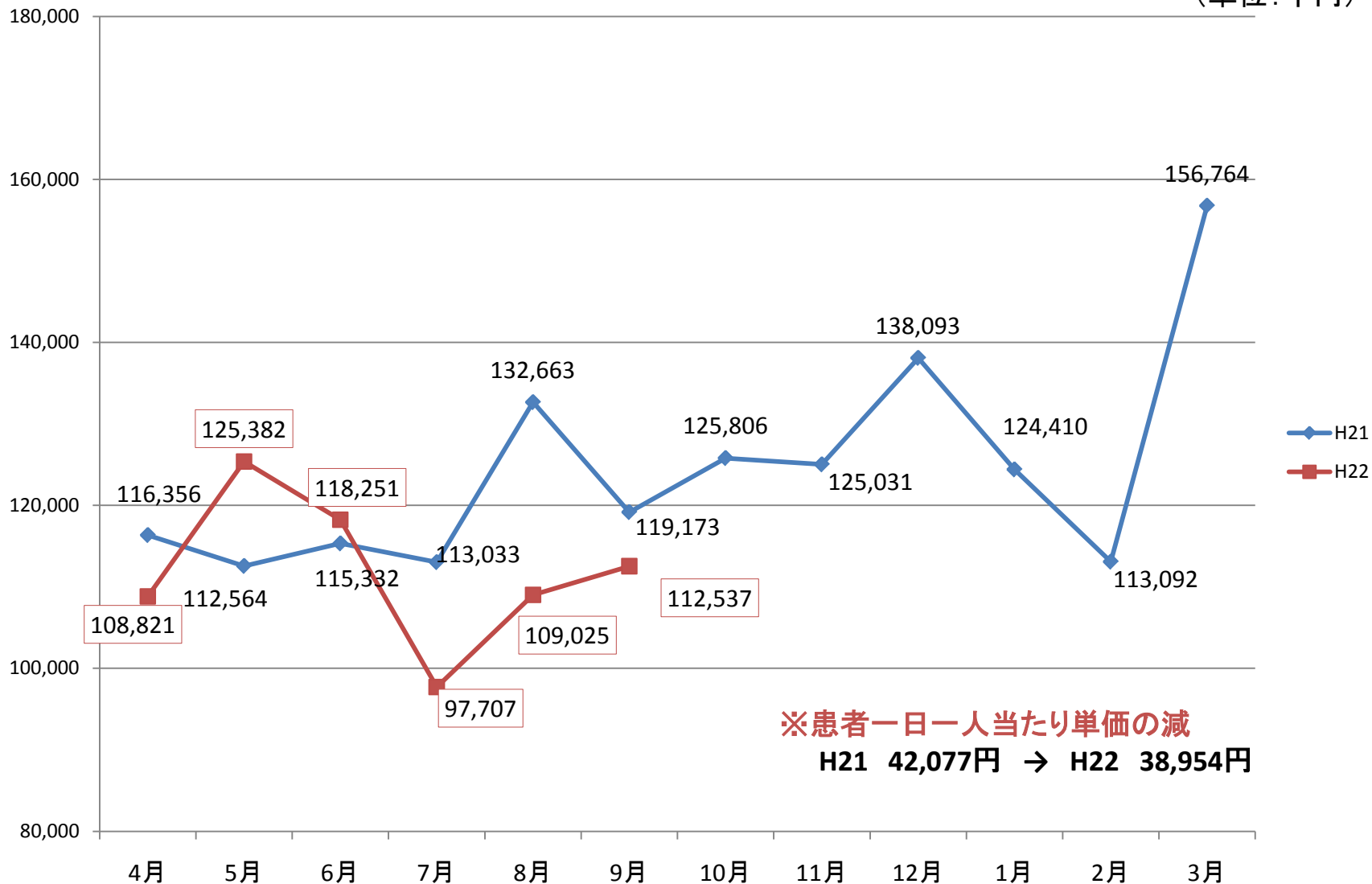


月別外来患者動向(前年度対比)



月別入院収益(前年度対比)

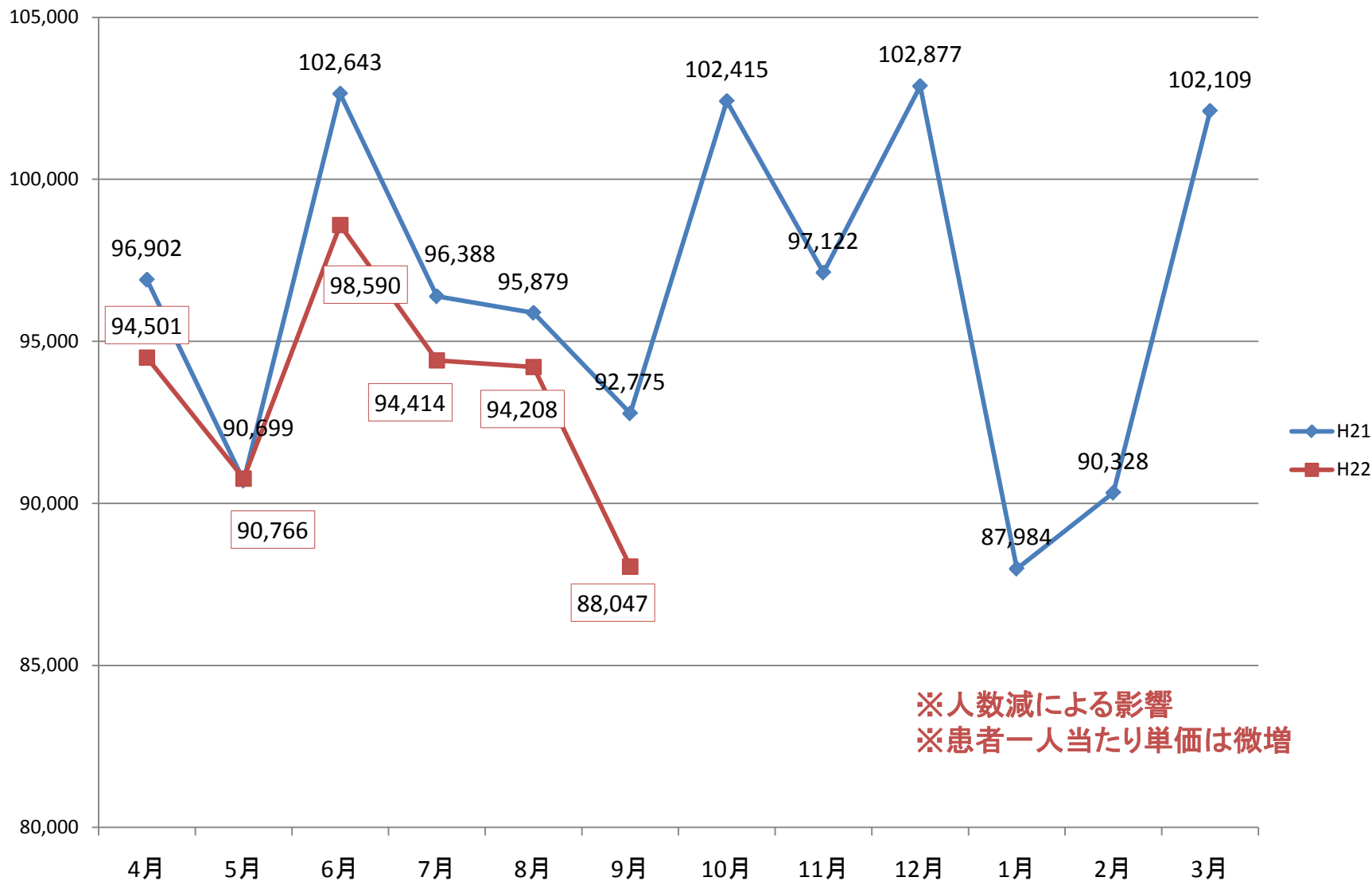
(単位:千円)



※患者一日一人当たり単価の減
H21 42,077円 → H22 38,954円

月別外来収益(前年度対比)

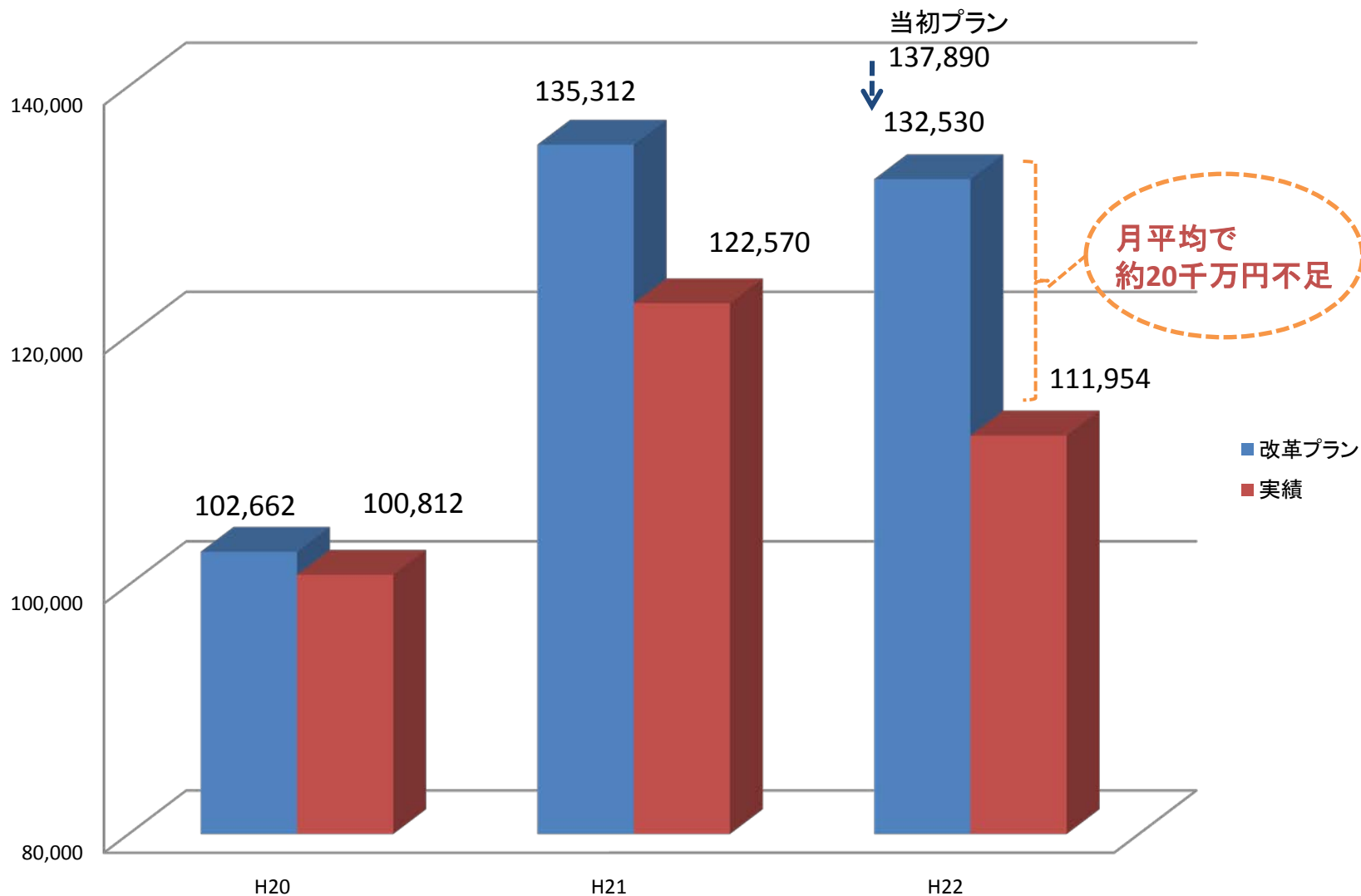
(単位:千円)



※人数減による影響
※患者一人当たり単価は微増

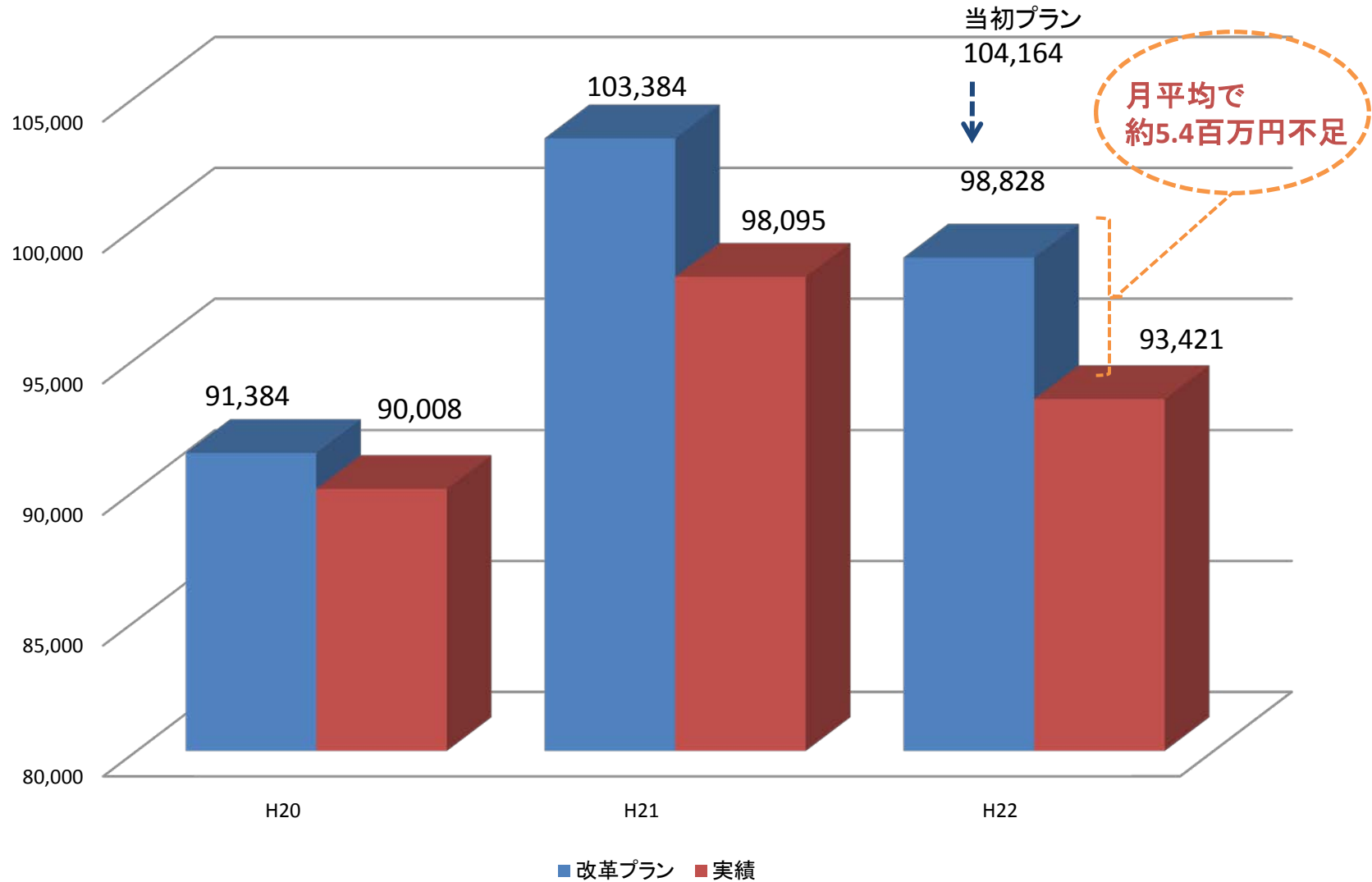
入院収益の状況・改革プラン対比

※月平均収益（単位：千円）

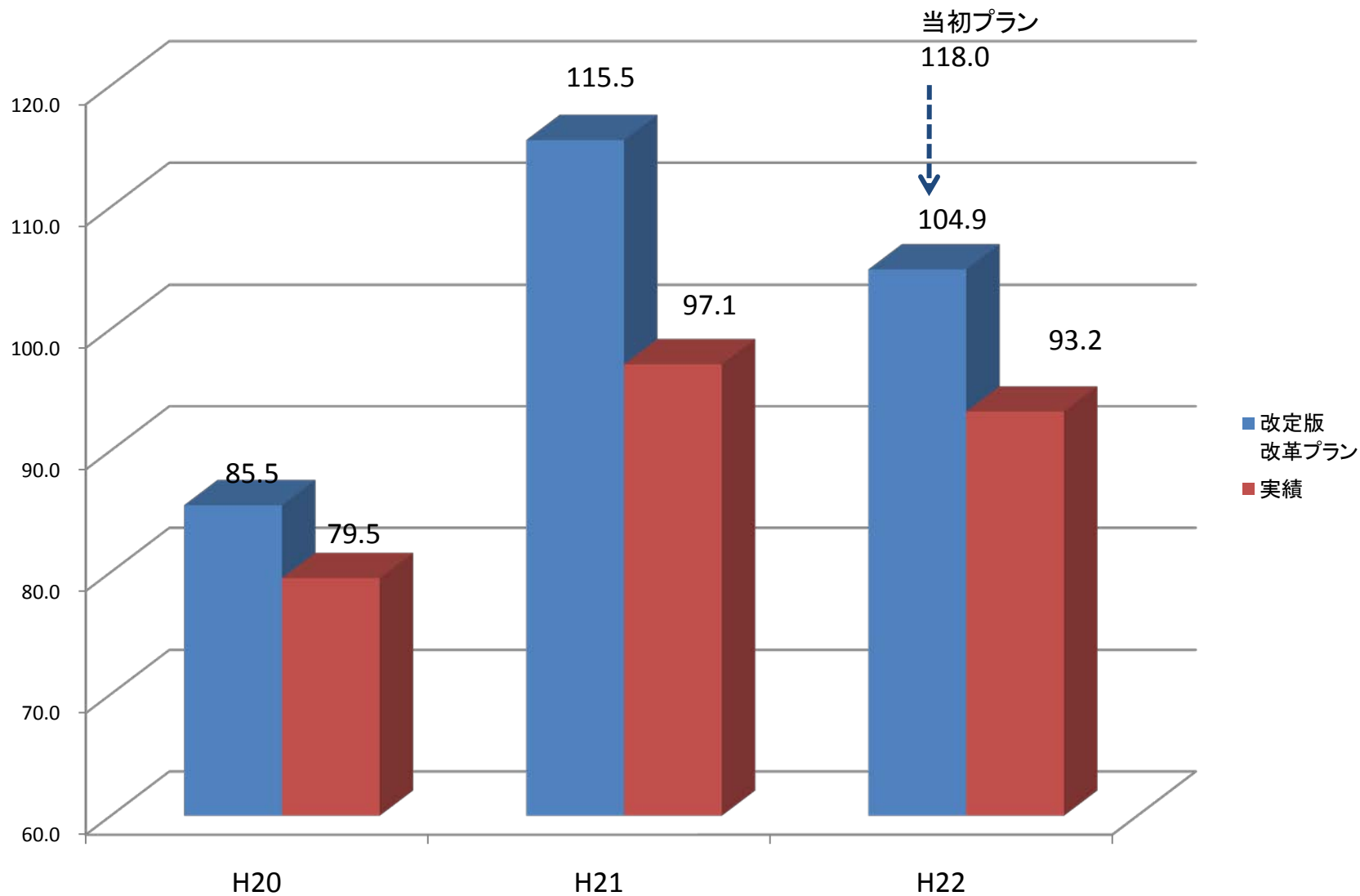


外来収益の状況・改革プラン対比

※月平均収益（単位：千円）

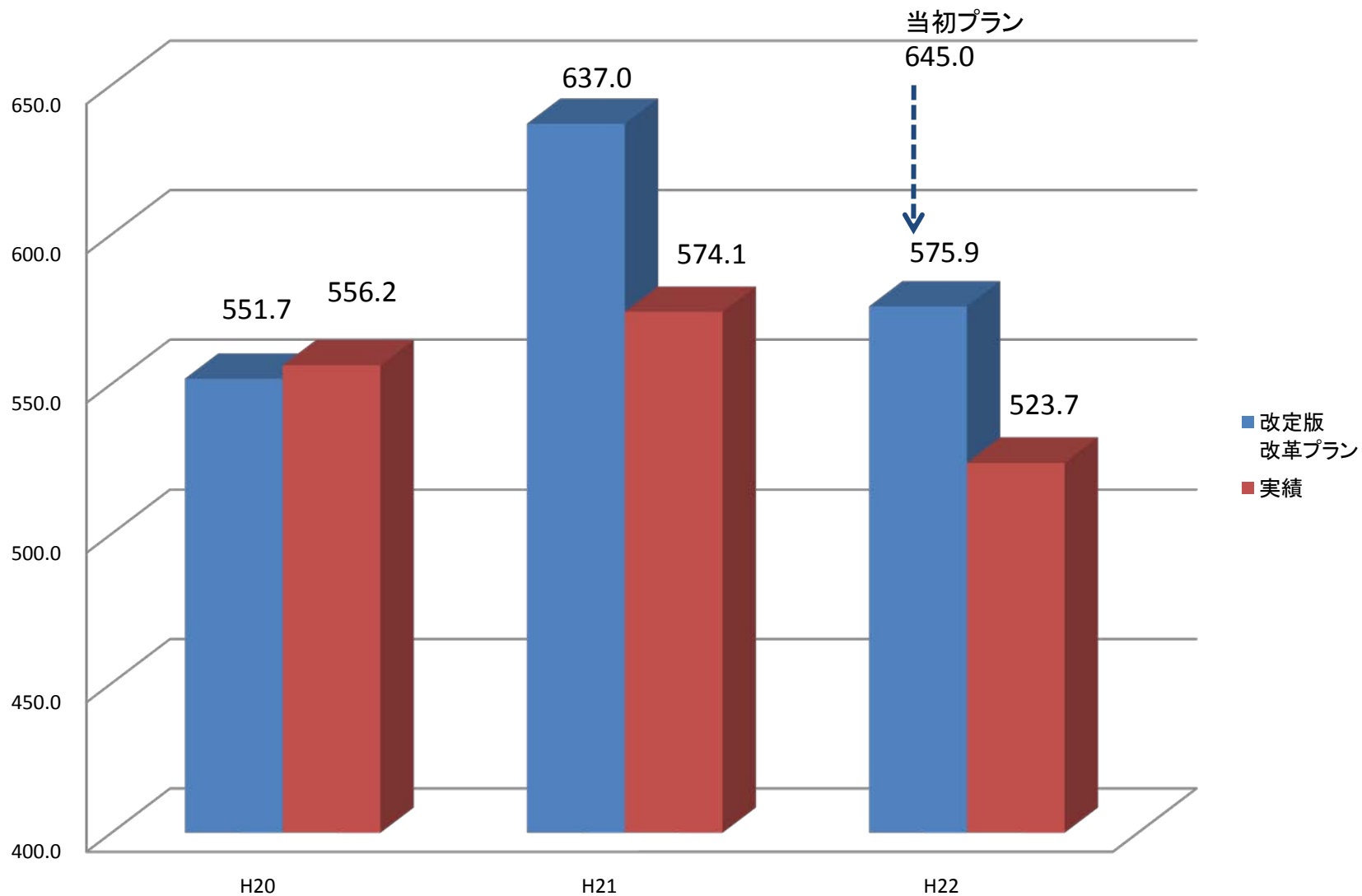


入院患者の状況(一日平均)



※H22年度は改定版

外来患者の状況(一日平均)



以下は、10/08開催の第4回議員活動報告会資料です。

※本年度の数値は8月末実績です。

改革プランの改善事項（改定版より）

- 医師招へい対策
 - 病院主催の医療講演会の定期開催
- 一般会計繰出基準の見直し
 - 医師確保対策経費
 - 公立病院特例債元利償還金の要する補助金
- 病院の機能 病床数
 - 199床から135床（一般131床、感染症4床）
- 経営の効率化
 - 医業収支比率、職員給与比率の見直し
※下記のとおり
- 経費の削減
 - 診療材料のSPD化の充実による材料費削減（H22/10）
- 収入確保対策
 - 診療報酬請求漏れ、査定防止対策
 - 放射線医療画像ファイリングシステム導入による診療報酬増、材料費削減
- 医療機器の計画整備
 - 新病院新築基本方針に基づく医療機器の整備
- 地域医療機関との連携強化
 - 新病院には医療相談室設置、医療ソーシャルワーカーの配置に努め、地域医療機関との連携強化を図る
- 医療安全対策の充実
- 薬品・診療材料等の効率的購入
 - SPD化を推進し経費の節減を図る
- 施設の維持管理経費の節減
- 電子カルテシステム
 - 新病院「病歴管理室」の設置と診療情報の一元管理とともに効率的なシステム導入を前提に検討
- 人件費の適正化
 - H22年度 基本給3%（H21年度基本給 4%）

※経営効率化の目標値に疑問点が？決算見込みとの乖離

医業収支比率 (%)		H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
	当初計画	88.8	89.9	90.9	90.8	90.7	90.9	90.8
	改定後	78.4	83.0	80.3	70.2	78.4	78.0	78.9
※決算見込み		74.7						

給与費比率 (%)		H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
	当初計画	54.7	54.4	53.7	54.1	54.3	54.5	54.6
	改定後	66.6	63.3	66.6	66.4	63.1	63.7	62.9
※決算見込み		75.4						
職員給与費/医業収益								

※新病院建設の前提である「改革プラン」の検証・分析が必要

※給与費比率の目標達成のためには
(単位:百万円)

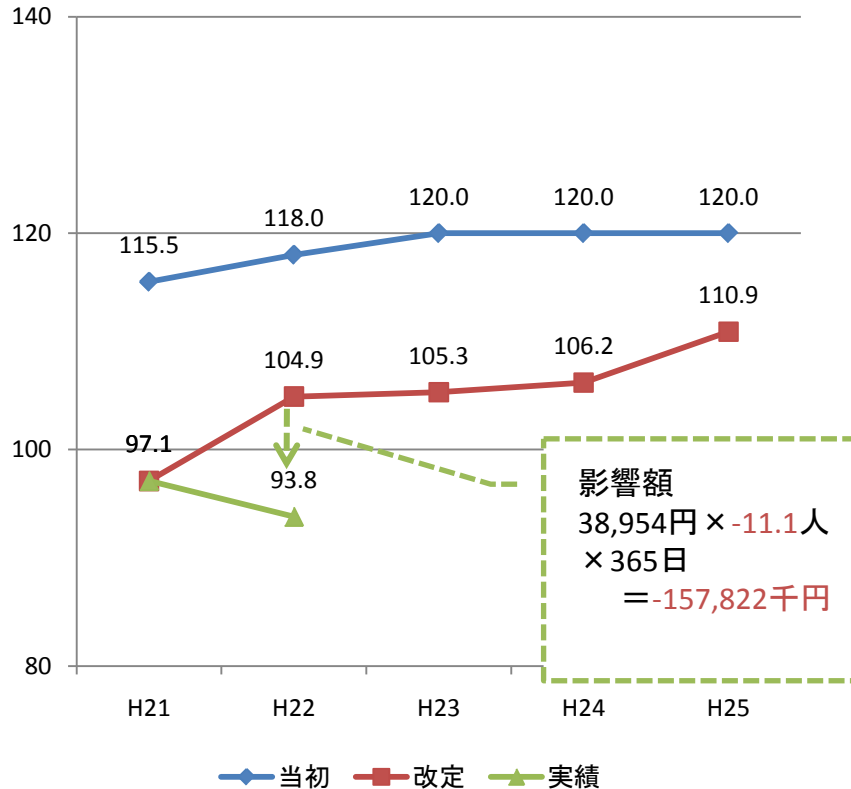
	決算見込	改定後	当初計画
給与費比率	75.4	63.3	54.4
医業収益	2,673	3,187	3,709
給与費	2,018	2,018	2,018
※医業収益の増収		514	1,036

	75.4	63.3	54.4
給与費比率	75.4	63.3	54.4
医業収益	2,673	2,673	2,673
給与費	2,018	1,692	1,454
※給与費の削減		326	564

改革プランでは医業収益 2,925 給与費 1,851

改革プラン改定版分析 その1

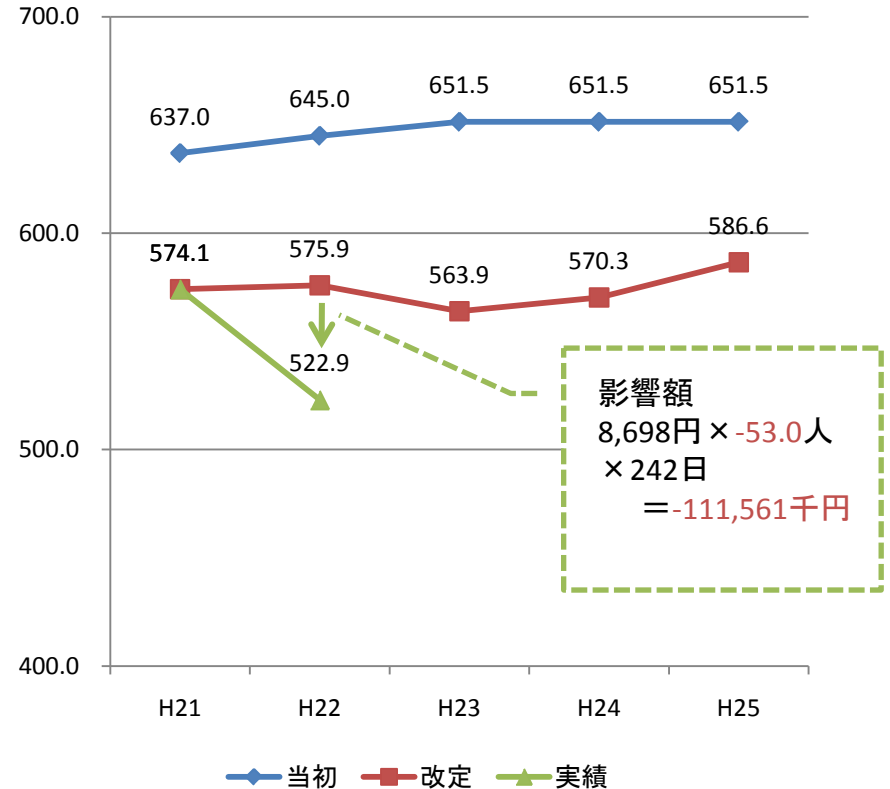
1.入院患者数



	H21	H22	H23	H24	H25
当初	115.5	118.0	120.0	120.0	120.0
改定	97.1	104.9	105.3	106.2	110.9
実績	97.1	93.8			

※H22年度は8月末までの実績

2.外来患者数

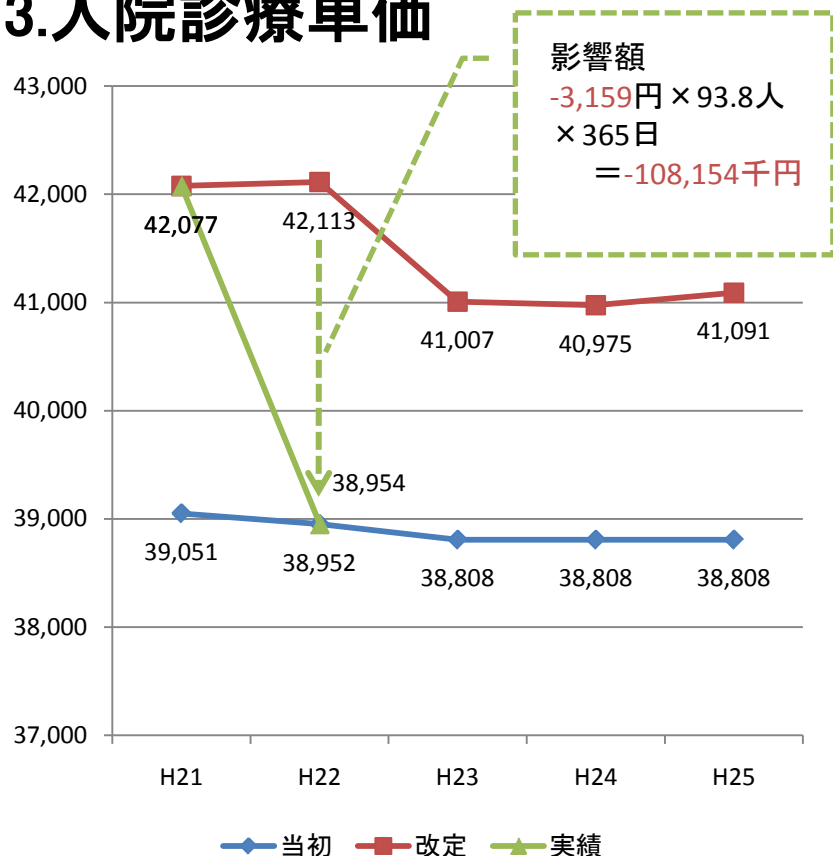


	H21	H22	H23	H24	H25
当初	637.0	645.0	651.5	651.5	651.5
改定	574.1	575.9	563.9	570.3	586.6
実績	574.1	522.9			

※H22年度は8月末までの実績

改革プラン改定版分析 その2

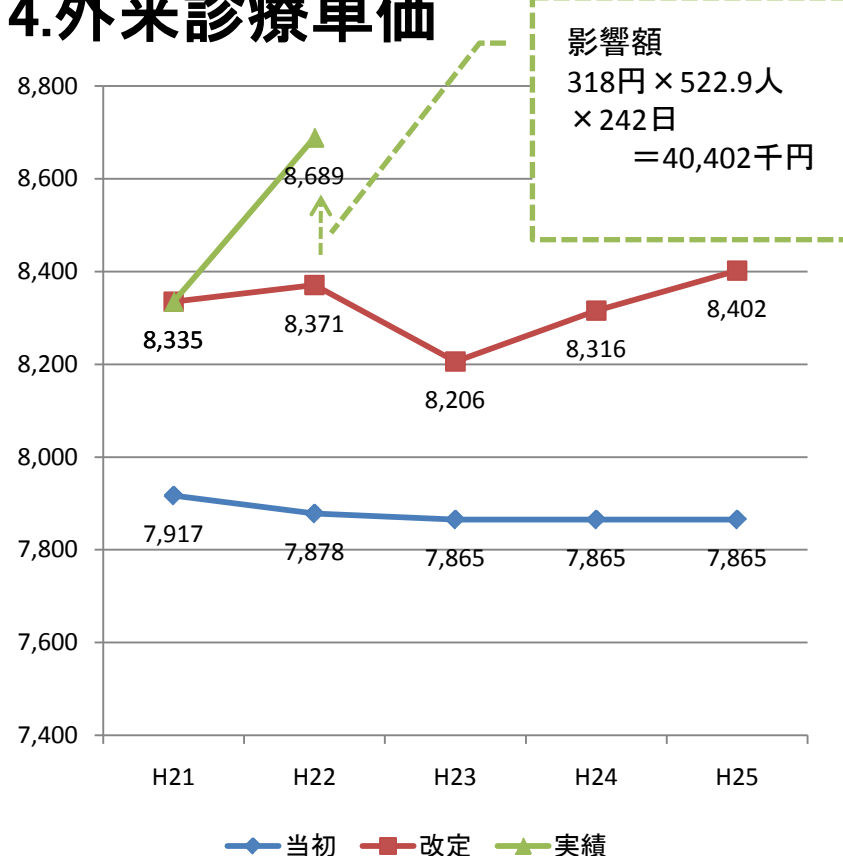
3.入院診療単価



	H21	H22	H23	H24	H25
当初	39,051	38,952	38,808	38,808	38,808
改定	42,077	42,113	41,007	40,975	41,091
実績	42,077	38,954			

※H22年度は8月末までの実績

4.外来診療単価

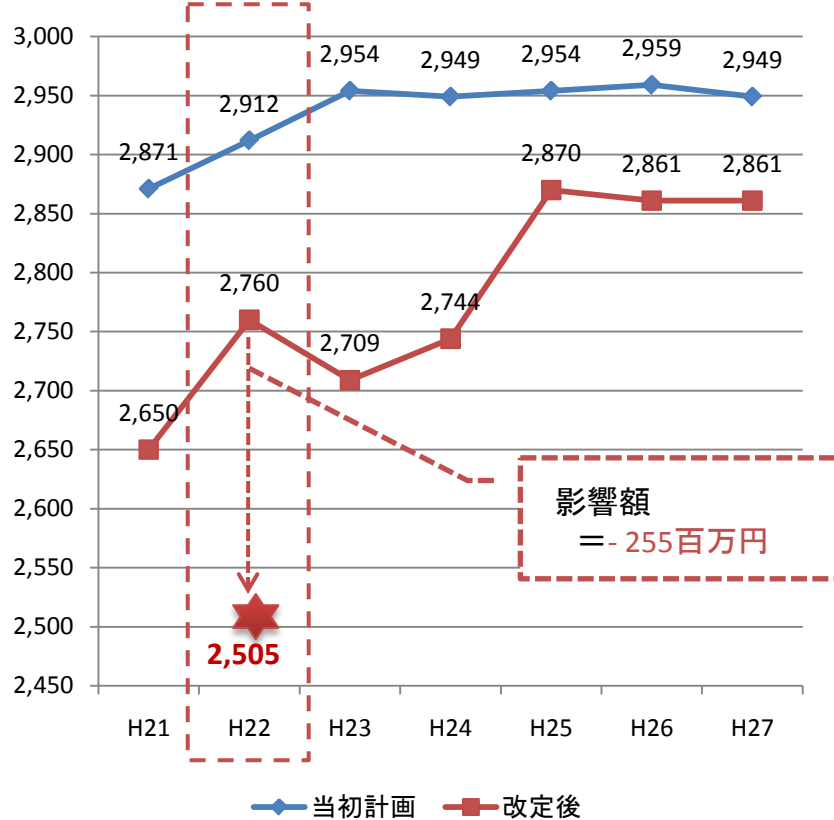


	H21	H22	H23	H24	H25
当初	7,917	7,878	7,865	7,865	7,865
改定	8,335	8,371	8,206	8,316	8,402
実績	8,335	8,689			

※H22年度は8月末までの実績

改革プラン改定版分析 その3

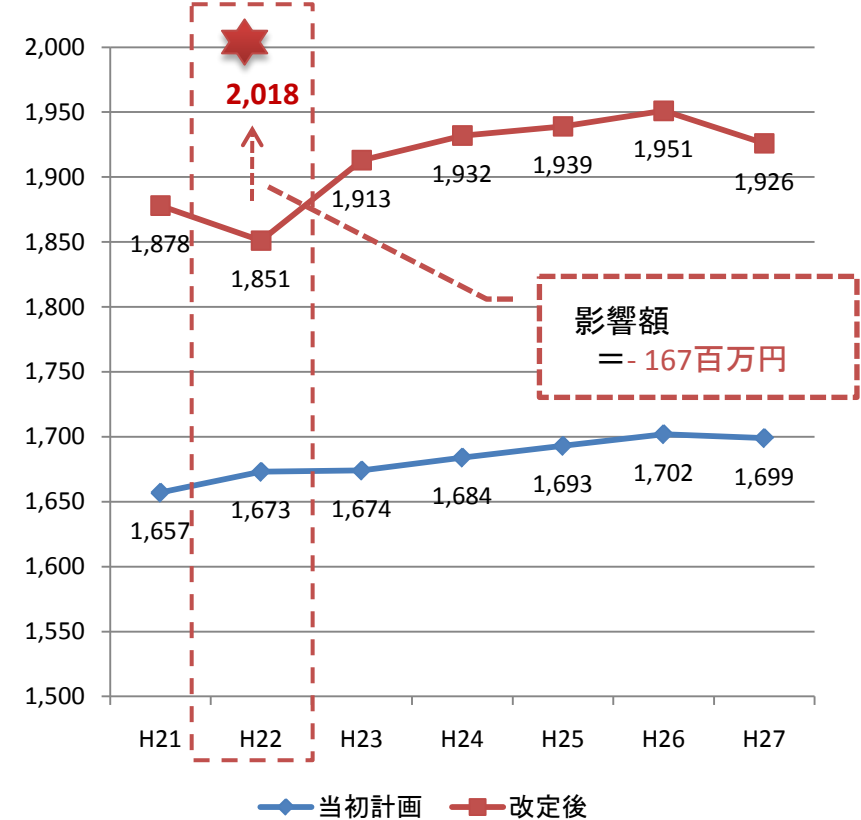
5.料金収益



	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
当初計画	2,871	2,912	2,954	2,949	2,954	2,959	2,949
改定後	2,650	2,760	2,709	2,744	2,870	2,861	2,861
	-221	-152	-245	-205	-84	-98	-88

★ 決算見込み額 2505

6.職員給与費

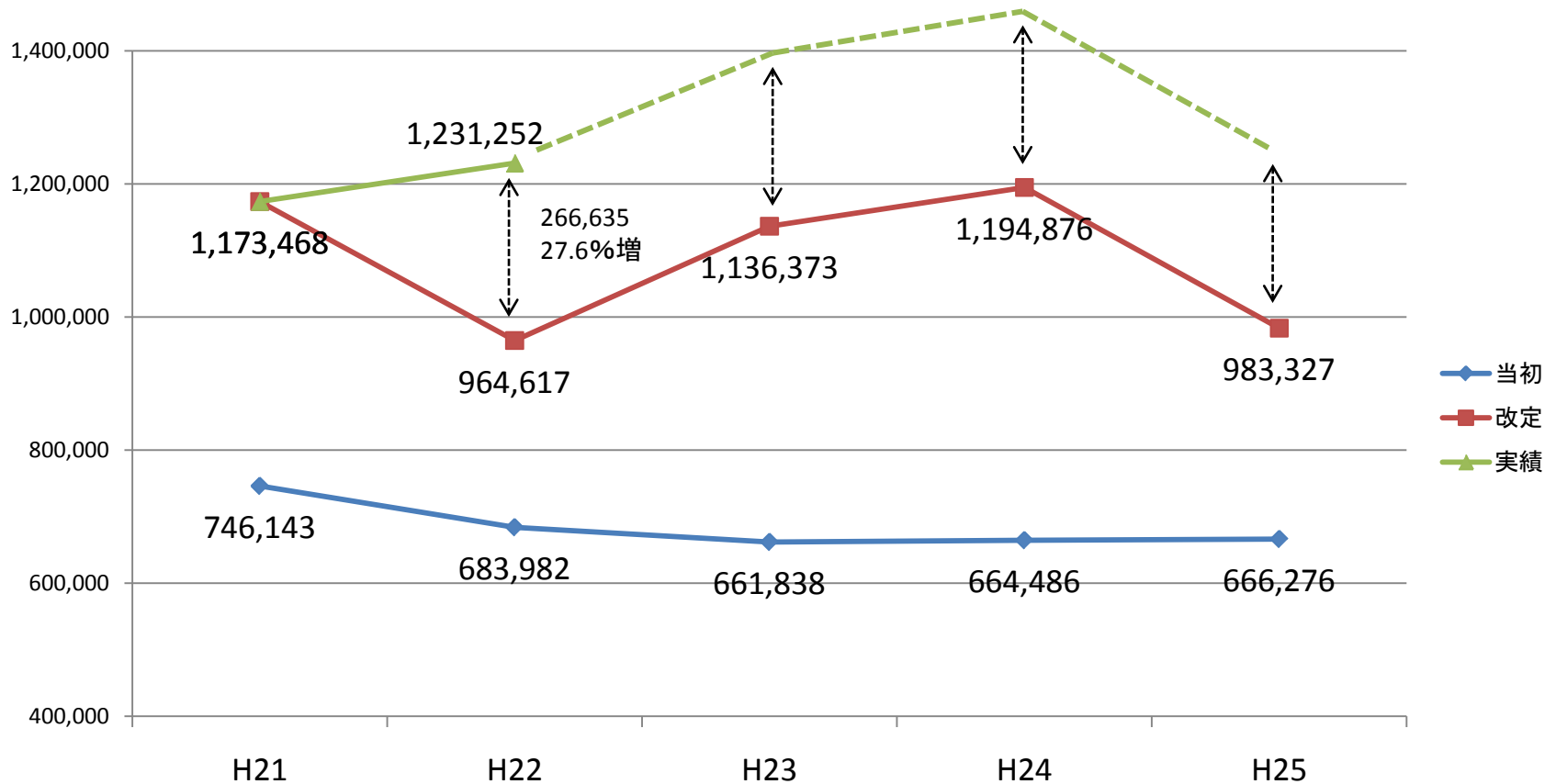


	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
当初計画	1,657	1,673	1,674	1,684	1,693	1,702	1,699
改定後	1,878	1,851	1,913	1,932	1,939	1,951	1,926
	221	178	239	248	246	249	227

★ 決算見込み額 2,018

改革プラン改定版分析 その4

7.一般会計繰出金



	H21	H22	H23	H24	H25
当初	746,143	683,982	661,838	664,486	666,276
改定	1,173,468	964,617	1,136,373	1,194,876	983,327
実績	1,173,468	1,231,252			

※H22は決算見込み額

問題点

- 改革プラン改定版の数値と9月末実績の乖離
 - － 料金収益で **255百万円**(病院作成の決算見込みとの乖離)
 - － **337百万円**(上期実績との乖離)
 - － 職員給与費で **167百万円**(病院作成の決算見込みとの乖離)
- 一般会計繰出金を改定版改革プランでは**965百万円**と見込んでいるが8月末実績をベースにした病院作成の決算見込みでは**1,231百万円**としており、既に**266百万円**もの乖離となっている。
- 現時点で、新病院建設事業費をベースにした明確な収支見通しが示されていない。
- 改定版改革プランを目安に判断するとしても、今年度の数値で収支合わせて**5億円近い違い**がある。
- 麻酔科、外科の退職者がでていますが、今後の医師招へい対策の見通しも示されていない。
- 看護師の大量退職の問題もある。(H28年度までに21名)
- 新築と合わせた院内の様々な改革、改善が計画的実行が必要である。

市民と共に病院建設を進める為に

- 新病院の建設費用を含む収支見通しを明らかなしななければならない。
- 医師の招へいの見通しや今後の配置計画(目標)を明らかにしなければならない。
- 一般会計繰出金の限度額及び他の事業への影響も示す必要がある。
- 病院建設の内容について市民説明会を行政自ら自主的に行うべきである。

※市民の関心事は、「どんな病院になるのか?」「建設費はどのくらい?」、「病院の経営は大丈夫?」「支える一般会計は大丈夫?」、「根室市が夕張の様になってしまうのでは?」

※市民不安の払拭が必要